

第76回宮城県国土利用計画審議会

I 日 時 : 令和6年11月11日(月) 午後1時30分から午後3時まで

II 場 所 : 宮城県行政庁舎9階 第一会議室

III 次 第

1 開 会

2 挨拶

3 議 事

- (1) 宮城県国土利用計画(第六次)の中間見直しについて
- (2) 宮城県国土利用計画審議会に係る森林地域縮小案件の取扱いについて
- (3) その他

4 閉 会

配布資料

- 【資料1】 宮城県国土利用計画(第六次)の見直しについて(諮問書)
- 【資料2-1】 宮城県国土利用計画(第六次)見直しスケジュール(案)
- 【資料2-2】 宮城県国土利用計画(第六次)見直し方針(案)
- 【資料2-3】 宮城県国土利用計画(第六次)の点検結果及び方向性について
- 【資料2 別紙】 県土利用の推移等について
- 【資料3】 宮城県国土利用計画審議会に係る森林地域縮小案件の取扱について
- 【参考資料1】 宮城意見国土利用計画(第六次)の概要
- 【参考資料2】 宮城県国土利用計画(第六次)
- 【参考資料3】 第六次国土利用計画(全国計画)の概要
- 【参考資料4】 第六次国土利用計画(全国計画)

IV 出席者名簿

1 委員（13名中9名出席）

（敬称略）

分野	氏名	現職名	出欠
都市問題・ 交通問題	増田 聡 <small>ますだ さとる</small>	帝京大学教授	出
都市問題・ 交通問題	郷古 雅春 <small>ごうこ まきはる</small>	宮城大学教授	欠
都市問題・ 社会福祉	朴 賢淑 <small>ぼく ひよんすく</small>	仙台青葉学院短期大学教授	出
自然保護	齊藤 千映美 <small>さいとう ちえみ</small>	宮城教育大学教職大学院教授	出
農業	高橋 慎 <small>たかはし しん</small>	宮城県農業協同組合中央会常務理事	欠
林業	永井 隆暁 <small>ながい たかあき</small>	宮城県森林組合連合会常務理事	出
商工業	伊勢 千佳子 <small>いせ ちかこ</small>	仙台商工会議所女性会副会長	出
社会福祉	千葉 姿奈子 <small>ちば しなこ</small>	宮城県船形の郷施設長兼 仙台北部地域福祉サービスセンター長	出
土地	佐々木 真理 <small>ささき まり</small>	不動産鑑定士	出
市町村	山田 裕一 <small>やまだ ゆういち</small>	白石市長（宮城県市長会）	出
	寺澤 薫 <small>てらさわ かおる</small>	七ヶ浜町長（宮城県町村会）	欠
その他	小堤 彩子 <small>こづつみ あやこ</small>	宮城県農村青少年クラブ連絡協議会 顧問	欠
	青木 ユカリ <small>あおき</small>	特定非営利活動法人せんだい・みやぎ NPOセンター常務理事・事務局長	出

2 事務局

中谷 明博	企画部理事兼副部長
三浦 恵美	企画部地域振興課長
佐藤 一夫	企画部地域振興課副参事兼総括課長補佐
角田 康	企画部地域振興課課長補佐（土地対策班長）
佐藤 勇樹	企画部地域振興課主任主査
菅原 隆之	企画部地域振興課主査
作並 良唯	企画部地域振興課主事

3 個別規制法担当課

氏 名	職 名
佐久間 正則	環境生活部自然保護課課長補佐（班長）
梅澤 有人	農政部農業振興課主任主査（副班長）

V 会議の概要

- 1 午後1時30分、司会の佐藤副参事兼総括課長補佐が開会を宣言し、会議が有効に成立する旨の報告を行った。(定足数7名以上出席)
- 2 中谷企画部理事兼副部長の挨拶の後、議事に入り、増田会長が国土利用計画審議会条例第5条第1項の規定により、議長となって以後議事を行った
- 3 議事について、三浦地域振興課長が説明を行った後、審議が行われた。

VI 会議運営に関する報告・確認事項等

- 1 定足数の報告
国土利用計画審議会条例第5条第2項の規定により、定足数である過半数(7名)を満たし、有効に成立していることを報告した。
- 2 審議の公開・非公開の確認
議事の公開を確認した。
- 3 議事録署名委員の指名
審議会運営規程第5条第1項の規定により、「朴 賢淑委員」、「青木 ユカリ委員」の2名を議事録署名委員に指名した。

Ⅶ 議事録（発言要旨）

増田会長	<p>それでは本日の議事に入りたいと思います。</p> <p>議事の（１）「宮城県国土利用計画（第六次）の中間見直しについて」事務局から御説明をお願いします。</p>
三浦課長	<p>（資料２－１から２－３により説明）</p>
増田会長	<p>ありがとうございました。ただいまの説明に御意見・御質問等あればお願いします。</p> <p>再生可能エネルギー発電施設設置に伴う林地開発許可件数について、全体の件数は減少傾向にありますが、集中的に開発されている地域もあると思います。集中的に開発されている地域をピックアップできるような仕組みがあるといいかなと思いました、</p>
永井委員	<p>今年の４月に施行された「再生可能エネルギー地域共生促進税」の導入により、再生可能エネルギー発電施設導入による森林の乱開発などの話があまり聞こえなくなったように感じますが、県としては如何でしょうか。</p>
三浦課長	<p>「再生可能エネルギー地域共生促進税」については、今年４月に施行されたばかりのため、今後の動向を注視していく必要があると思います。</p> <p>また、白石市の越河地区において、風力発電事業が非課税に認定された事例があります。新聞報道でも、新税導入により、宮城県から企業の撤退の動きとの報道も見られ、委員おっしゃるとおり新税導入が抑制となっているものと認識しております。</p>
山田委員	<p>今の説明について、補足いたします。</p> <p>越河の風力発電事業については、事業者が協議会を設置し、地元との合意を図り、非課税に認定されたところです。</p> <p>非課税に認定されない場合、利益の約２０％が課税額となり、事業者からするとほとんど利益が出ないということになります。地元の合意が得られない事業については、他地域に移り、乱開発は避けられると思われれます。</p>
齊藤委員	<p>自然公園内における再エネ開発件数は増えていますが、「再生可能エネルギー固定価格買取制度（FIT）」の認定件数は減っているということは、全体として開発面積は減少しているということでしょうか。</p>
三浦課長	<p>事業認定件数については減少傾向にありますが、森林法に基づく開発許可等面積は依然として１００haを超えている状況が続いており、うち再生可能エネルギーに関する面積は増えております。</p>

齊藤委員	確認ですが、「再生可能エネルギー固定価格買取制度（FIT）」の件数については、新規で認定された件数でよろしいでしょうか。
三浦課長	新規認定された件数です。
増田会長	ほかに御意見・御質問等はありませんでしょうか。引き続き、再生可能エネルギーに関する土地利用についてモニタリングを行っていただければと思います。また、資料２－３の３ページにあります「沿岸部の人口及び高齢化率」のグラフについて、仙台市近郊のデータも追加して、比較できるような作りだと良いと思いました。
三浦課長	仙台市近郊のデータを確認し、反映させたいと思います。
増田会長	続いて議事（２）「について宮城県国土利用計画審議会に係る森林地域縮小案件の取扱いについて」事務局から御説明をお願いします。
三浦課長	（資料３により説明）
増田会長	ありがとうございました。ただいまの説明に御意見・御質問等あればお願いします。 森林の開発面積が近年は減少傾向にありますが、平成２９年以前の傾向はどうかわかりますでしょうか。「再生可能エネルギー固定価格買取制度（FIT）」ができたのはいつ頃でしたでしょうか。
三浦課長	制度が出来た時期の資料については、今、手元にありませんが、事業の認定件数が近年減少傾向にあるのは、平成２９年の制度改正による林地開発許可の駆け込みの影響があったため、新規事業認定件数が令和１年度まで増加していたものと思われます。令和２年以降は、駆け込みが落ち着いたことから、新規認定件数が減少していると思われます。
齊藤委員	林地開発許可について、１０ha以上は森林審議会にて審議するというのは、森林法上の取扱いということよろしいでしょうか。
三浦課長	その通りです。
永井委員	以前の審議では、丸森町のメガソーラーなどの話があったことから、林地の開発について国土利用計画審議会でも審議する必要があるのではという意見もあったと思います。 林地開発許可に対する監督権限というのは、地域森林計画対象民有林に対

	<p>してあります。したがって、開発が完了するまで森林として区域を保持しておく必要があるという点で他の許認可と異なります。現在は再生可能エネルギー地域共生促進税導入の関係もあり、それほど多く再エネによる開発の話が出てこなくなったことから、森林地域の縮小について報告については、現在の取扱いのままで良いと思います。</p>
増田会長	<p>大規模な森林開発に関する情報を事前に共有しておくことは、国土利用計画審議会としても必要なことと思います。</p> <p>異議がなければ、取扱について変更したいと思いますがよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なしの声)</p>
増田会長	<p>続きます議題(3)について、事務局又は、委員の皆さんから何かありますか</p>
永井委員	<p>参考資料3について、第六次国土利用計画全国計画における森林の面積が令和2年の2,503万㎡から令和15年の2,510万㎡に増加しているが、なぜかわかりますでしょうか。体感として森林が増えているという感覚はないのですが、国の数値が増えている理由について分かれば教えて下さい。</p>
三浦会長	<p>参考資料3に記載の数値については、計画の本文に適切な整備及び保全を図るとありますが、全国計画に関する数値であるため、国に確認し後日回答させていただきます。</p>
増田会長	<p>ほかに何かありますでしょうか。なければ本日の議事を終了したいと思います。</p>
佐藤副参事兼 総括課長補佐	<p>お疲れ様でございました。以上をもちまして「第76回宮城県国土利用計画審議会」の一切を終了いたします。</p> <p>次回の「宮城県国土利用計画集委員会」は令和7年1月17日の開催を予定しております。具体の開催案内につきましては、後日事務局より送付する予定でございますのでご承知下さい。</p> <p>本日はお忙しい中、御出席いただき誠にありがとうございました。お気をつけてお帰りください</p>